

みんなの笑顔を守りたい

相模女子大学小学部 六年 小松 桃寧

「具合の悪い患者さんが、笑顔で診察室を出ていくんだよ」
父の話を聞いたとき、私もそんな医師になりたいと強く心に決めた。この決心は、どんなに丈夫な石よりも堅い。父は総合診療医だ。総合診療医は、他の専門家と異なり、臓器を限定せずに人を診る。そう語る父に憧れた。

私の幼い頃、父は夜も休日も家にいなかった。幼い私が自宅を「お母さんの家」と呼んだほど、父は不在だった。また、幼稚園の行事に、みんなは両親が来ている中、私の父はいつもいなかった。私はずっと寂しかった。

けれどそんなとき、父はいつも生死をさまよう患者の集中治療をしていたと後から聞いた。父は東日本大震災のときも、日本に初めて新型コロナウイルスが入ってきたときも、最前線で働いていた。また、野外音楽フェスティバルに行ったときには、ある観客が倒れてしまい、父は

すぐに走って助けに行った。その姿を私は実際に見た。みんなが大変なとき、楽しいとき、父は変わらずに医師だった。そして、探究のために父の仕事を見学したとき、患者の笑顔を見て、父は患者の笑顔を守っているのだと初めて気がついた。そのとき私は、自分も医師になりたいと改めて思った。

では、医師にとって必要なことは何か。一つ目は、常に学び続けることだ。医師になるには、大学の医学部に入り、六年間学ばねばならない。知識だけでなく、実習も必要だ。私は医学部のある大学附属の中学校を目指している。自宅から一番近い学校を選び、空いた時間を有効に使っていきたい。その次に国家試験を受ける。さらに研修医として働きながら学び続ける。そして、医師になってからも新しい疾患や新しい治療は次々に生まれてくる。だからこそ、患者から学び続けねばならない。学び続けるためのお金を

負担してくれる両親に、感謝の気持ちでいっぱいだ。

二つ目は、多角的な視点と人の話を聴く力だ。可能性を狭めないことが大事であろう。例えば、息苦しさの原因は肺かもしれないし、心臓かもしれない。データをともに考えるだけでなく、患者の話を聴き、その中からヒントを見つけることもあるだろう。

三つ目は他人を思う心。これは一番大事なことだと思う。今のうちから他人と上手に接する練習をしておく必要がある。学校は社会を学び、失敗をして次に活かす場所だと思う。友人や先生から人としての関わりを学び、人を心から大切にしていこうと思う。

医師になるため、前を向いてしっかりとステップを重ねていく。大きくて高い壁にも負けずに立ち向かって、飛び越える。父は人々の健康を守りながら笑顔を守ってきた。私も医学だけでなく、人として相手を大切にできる力も合わせて、誰かの笑顔を守れる総合診療医になりたい。私は、誰かの笑顔を見ることが何よりも幸せだから。



小松 桃寧 のライフプラン

将来なにになりたいか? **総合内科医**

その理由: **誰かの笑顔を見るのが大好きで、私も笑顔を守れる存在になりたいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール **自宅から近く、医師のある大学附属の学校を受験。他に長くなる練習も!**

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12(小6)	中学受験・小学校卒業	小学校と塾の授業料
2023年	13(中1)	中学校入学 新しい仲間に出会える。中学校の入学金	中学校と塾の授業料
2024年	14(中2)	自宅から近い学校のため、早帰りをし長期休暇は特に生物が数学の勉強を努力する。	中学校と塾の授業料
2025年	15(中3)	附属高校に進学するための勉強	中学校卒業
2026年	16(高1)	高等学校入学 みんなと遊びたい。	高等学校の入学金、高等学校と塾の授業料
2027年	17(高2)	医学部推薦をとるための勉強	
2028年	18(高3)	今までにないほど本気で勉強し、医学部推薦を絶対にとる。	
2029年	19(大1)	医学部に入る。	大学の入学金、学費
2030年	20(大2)	生体を解剖し、人体について学ぶ。	学費
2031年	21(大3)	医学の専門知識を深める。	
2032年	22(大4)	病棟での実習を開始	
2033年	23(大5)	病棟での実習	
2034年	24(大6)	医師国家試験の勉強受験! 医師面許取得!	
2035年	25	初期研修先の病院決定 初任給をいただく	→ここからはお金をいただき、自分で生活費を払おう。(医学書代や生活費など)
2036年	26	研修医	↓
2037年	27	専門を決め、後期研修先の病院も決める。	↓
2055年	45	自分の病院を開く。飛行機の中で、何かの役にたつ自信を持って手を打てる医師になる。	医学書代、生活費

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!